

海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 開催状況

令和6年（2024年）8月23日（金）第1回ワーキンググループ開催（羅臼町）

〈第1回海域ワーキンググループの主な内容〉

◇ 長期モニタリング項目評価調書（案）について

第2期長期モニタリング計画において海域ワーキンググループが担当するモニタリング項目について、最新のデータに基づく評価を行いました。

◇ 第45回世界遺産委員会決議に係る対応について

世界遺産委員会において決議された知床の保全状況に係る決議事項4（トド関連）、決議項目5（トド関連）及び決議項目6（海鳥関連）について、報告内容の確認を行いました。主な意見は次のとおりです。

- ・ トドに関する勧告については、動態モデルに基づき採捕枠を設定しているため、世界遺産委員会の決議に従った内容になっている。
- ・ 海鳥に関する回答については、今回はこのように回答するとして、2年後にはもう少し具体的な回答ができるように対応してほしい。

◇ 気候変動に対する順応的管理戦略について

海域ワーキンググループが担当する部分を中心に内容の検討を行いました。主な意見は次のとおりです。

- ・ 順応的管理の定義があった方がいい。
- ・ 人為的圧力、管理手段があっても然るべき。ヒグマだと問題個体があるように、トドでも採捕枠があってもいい。
- ・ 因果関係について、連鎖の線が足りないものがある。
- ・ 長期モニタリング計画について、順応的管理戦略に基づき考え方が変わっていく、気候変動の影響を把握するためにモニタリングを実施していくということを記載し、つながりが見えるようにした方がいい。

2 今後の予定

◇ 第2回海域ワーキンググループ（札幌市）

- ・ 長期モニタリング項目評価調書（案）について
ほか